

似て非なるもの

私が光合成研究と初めて接点を持ったのは、博士号取得のためにベルリンに行ってからです。学部・修士時代、私は生体分子素子に興味がありました。例えばコンピューターの頭脳（CPU）は非常に多くの発熱を伴いますが、それはリーク電流が生じてしまうからです。そのような背景から、シリコン半導体を超えた生体分子素子を作りたいと思い工学部に進学した経緯があります。ドイツの奨学金（DAAD）に採択されると、ブレーメンで4ヶ月のドイツ語研究が義務づけられ、ベルリンでの研究開始がその分遅れました。・・・